

## 「夜中に猫の膀胱炎が改善したケース」

原 里美

猫（オス） 15歳

[主訴]

夜中の膀胱炎

[具体的内容]

夜中に何回もトイレに行くが少ししか尿が出てない。気持ちが悪いのかニャーニャー鳴く。

膀胱炎か？昼間であれば、病院に連れて行くところだが夜中なのでホメオパシーで様子を見ようと思った。

[レメディ選択] (2023年11月30日)

Acon 30c

Canth 200c

Ars 30c

15分おきにリピート3回 その後1時間置いてもう1回リピート

マザーチンクチャー サポート Jin サポート MenekiS-g

[選択の根拠]

講義で習ったこと、マテリアメディカル等を参考にして、手元にあるレメディーを選択。

Acon⇒キーワード「突然」夜に悪化から選択

Canth⇒膀胱炎 No1 のレメディ

Ars⇒植物・動物＋鉱物の組み合わせるという事だったので、「夜悪化」

猫の性格が「神経質」「1人ではいたくないが、誰かが近くにいるのが嫌」というのがあっているため  
選択した。

手元にサポート Jin サポート MenekiS-G があったので水に混ぜて飲ませた。

[経過]

トイレに行き来するのが収まった。水をたくさん飲んで落ち着いて寝始めた。

翌日、一応動物病院に連れて行く、尿検査をしたところ膀胱炎疑いと言われ、薬が出たが  
ホメオパシーで治した。

[考察]

膀胱炎という事が選択しやすかった。プラス鉱物を選択するのが少し難しい。が、いろいろな資料とにらめっこ  
しながら良い選択ができたと思う。何より猫本人が楽になって良かった。

と思う瞬間でした。